

KAYABA RALLY TEAM



JAF全日本ラリー選手権 参戦レポート#7

2025年 JAF全日本ラリー選手権 第7戦

久万高原ラリー

2025/10/3(金)~5(日)
愛媛県上浮穴郡久万高原町



明暗を分けたタイヤ選択

クラス7位/総合11位



KAYABA RALLY TEAM



大会概要

日程: 2025/10/3(金)~5(日)
 場所: 愛媛県上浮穴郡久万高原町
 主催: 松山オートクラブ 他
 SS数: 8
 路面: ターマック
 総走行距離: 303.10 km
 SS距離: 109.76 km



スペシャルステージ設定

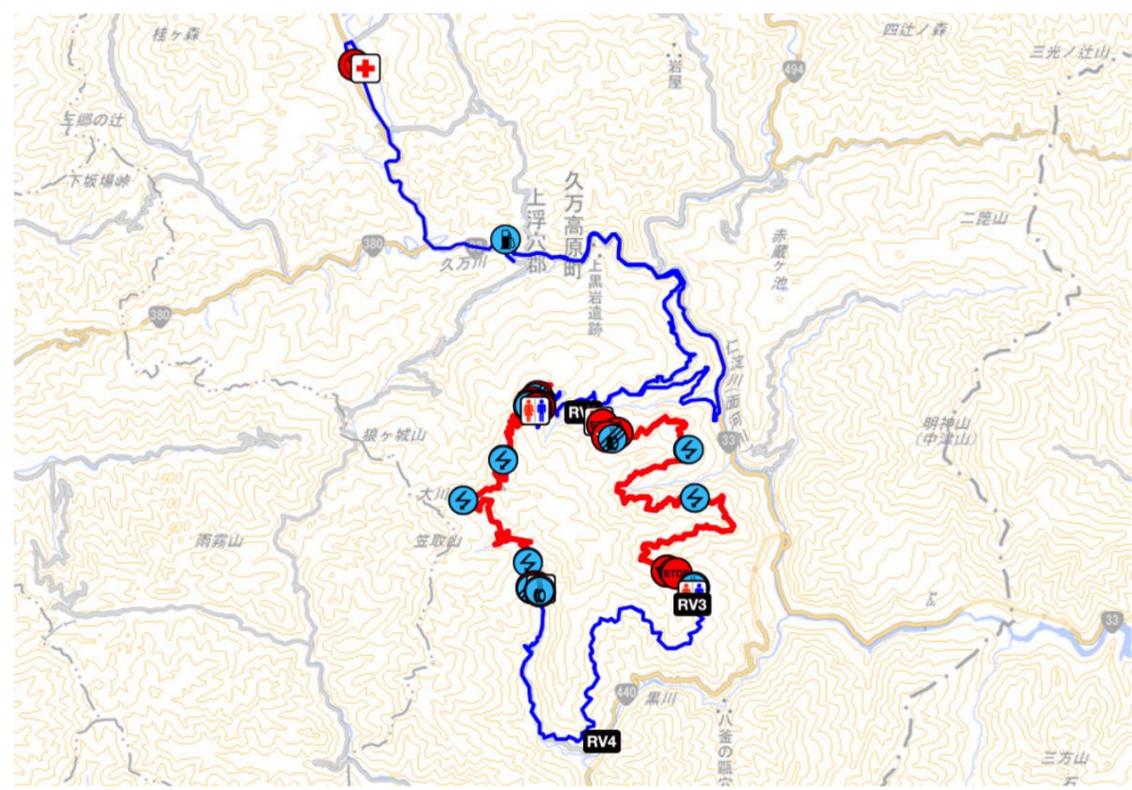
【LEG1】 10/4(土)
 天候: 雨 / 路面: ウェット

	スタート		9:00
SS1	大谷 I	13.51 km	9:50
SS2	大川嶺 I	13.80 km	10:50
	サービスA (30分)		11:15
SS3	大谷 II	13.51 km	13:20
SS4	大川嶺 II	13.80 km	14:20
	サービスB (45分)		14:50
	パルクフェルメ		15:35

【LEG2】 10/5(日)
 天候: 曇りのち晴れ / 路面: セミウェット

	サービスC (15分)		7:30
SS5	大川嶺リバース I	13.57 km	9:14
SS6	大谷リバース I	14.00 km	10:19
	サービスD (45分)		11:54
SS7	大川嶺リバース II	13.57 km	12:43
SS8	大谷リバース II	14.00 km	13:48
	フィニッシュ		14:28

全体図



チーム体制



チーム : KAYABA Rally Team
 監督 : 梶本 一憲
 チームアドバイザー : 奴田原文雄
 メカニックアドバイザー : 山田 淳一(RUTS RACING)
 リーダー/エンジニア : 松下 雄介
 ドライバー : 石黒 一暢
 コ・ドライバー : 穴井 謙志郎
 メカニック : 長江 将典、増谷 大志
 松田 幸也、三國 大河

リザルト (JN-1クラス7位 / 総合11位)

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	LEG 1					LEG1 順位		LEG 2					LEG2 順位		総合計	クラス順位	総合順位		
							SS1	SS2	SS3	SS4	Penalty	合計	クラス	総合	SS9	SS10	SS11	SS12	Penalty	合計				クラス	総合
JN-1	2	Heikki Kovalainen	北川 紗衣	AICELLO速心DLヤリスRally2	MXPA12	FIA	10:34.7	11:24.7	10:34.9	11:20.7		43:55.0	1	1	11:12.8	11:01.5	11:07.1	10:58.4		44:19.8	1	1	1:28:14.8	1	1
JN-1	55	新井 大輝	立久井 大輝	YAHAGI シュコダ ファビア R5	ABCUFX11	FIA	10:45.3	11:22.5	10:35.7	11:13.7		43:57.2	2	2	11:04.0	11:14.3	11:05.1	11:00.5		44:23.9	2	2	1:28:21.1	2	2
JN-1	1	勝田 範彦	保井 隆宏	GR YARIS Rally2	MXPA12	FIA	10:55.9	11:30.5	11:00.8	11:45.2		45:12.4	3	3	11:20.0	11:11.8	11:21.3	11:23.4		45:16.5	3	3	1:30:28.9	3	3
JN-1	6	福永 修	齊田 美早子	スミロン☆焼肉ふじ☆CTE555ファビア	ABDKZX11	FIA	11:15.7	11:48.0	10:59.0	11:35.6		45:38.3	6	6	11:17.4	11:20.3	11:24.5	11:42.3		45:44.5	4	4	1:31:22.8	4	4
JN-1	5	奴田原文雄	東 駿吾	ADVANKTMSGRヤリスRally2	MXPA12	FIA	10:54.3	11:34.6	11:03.9	11:55.6		45:28.4	5	5	11:24.4	11:44.0	11:27.4	11:29.6		46:05.4	5	5	1:31:33.8	5	5
JN-1	8	新井 敏弘	小坂典嵩	SUBARU WRX VBH	VBH	ASN	11:22.2	11:48.6	11:21.6	12:00.3		46:32.7	7	7	11:39.6	11:29.3	11:41.7	11:33.2		46:23.8	6	6	1:32:56.5	6	6
JN-2	11	貝原 聖也	西崎 佳代子	ADS多賀製作所カヤバK1GRヤリスDL	GXPA16	RJ	11:20.0	12:02.5	11:32.5	12:09.5		47:04.5	1	8	11:57.0	11:45.6	11:43.9	11:51.0		47:17.5	2	8	1:34:22.0	1	7
JN-2	12	山田 啓介	藤井 俊樹	FIT-EASYソミック石川DLGRヤリス	GXPA16	RJ	11:22.2	12:16.0	11:34.6	12:17.8		47:30.6	2	9	11:50.5	11:37.1	11:45.9	11:53.8		47:07.3	1	7	1:34:37.9	2	8
JN-2	15	大倉 聡	豊田 耕司	AISIN GR Yaris DAT	GXPA16	RJ	11:40.1	12:11.3	11:40.2	12:19.8		47:51.4	3	10	12:14.4	11:56.0	11:57.3	12:11.2		48:18.9	4	10	1:36:10.3	3	9
JN-2	26	内藤 学武	大高 徹也	YH TEIN Moty's GRヤリス	GXPA16	RJ	11:48.1	12:27.3	11:53.8	12:33.8		48:43.0	5	12	12:13.1	12:10.2	12:05.7	12:29.7		48:58.7	6	12	1:37:41.7	4	10
JN-1	7	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバ GRヤリス	GXPA16	ASN	12:15.5	12:29.2	12:01.3	12:32.4		49:18.4	8	16	12:13.6	12:17.9	12:12.0	12:21.7		49:05.2	7	13	1:38:23.6	7	11
JN-2(MCC)	8	Zeal Jones	Bayden Thomson	CUSCO WM DL GR Yaris	GXPA16	RJ	11:35.0	12:27.7	11:52.8	12:35.1	0:10	48:30.6	4	11	12:34.8	12:05.6	12:30.2	12:47.9		49:58.5	10	18	1:38:39.1	5	12
JN-3	30	曾根 崇仁	小川 由起	PMU☆DL☆INGING☆GR86	ZN8	RJ	11:55.2	12:17.7	12:09.0	12:56.2		49:18.1	1	15	12:26.3	12:28.5	12:35.4	12:36.8		50:07.0	3	20	1:39:25.1	1	13
JN-2	12	岩堀 巧	相原 貴浩	一六RACING 丸創物流GRヤリス	GXPA16	RJ	11:48.1	12:43.1	12:15.4	12:46.2		49:32.8	8	17	12:28.6	12:22.0	12:17.4	12:42.2		49:50.2	9	17	1:39:23.0	6	14
JN-2(MCC)	14	大竹 直生	橋本 美咲	GR YARIS GR4 RALLY	GXPA16	RJ	12:20.0	12:53.9	12:01.3	12:42.2		49:57.4	9	18	12:25.0	12:21.6	12:26.7	12:36.1		49:49.4	8	16	1:39:46.8	7	15

10月3日(金)~5日(日)、愛媛県久万高原町を拠点に全日本ラリー選手権 第7戦『久万高原ラリー』が開催され、全49台が集まった。北海道でのグラベルラリー2連戦を終え、シーズン終盤のターマックラリーとなる。標高1,000mを超える高地での開催となるために天候が不安定で、霧で視界が遮られることも多い。例年5月頃の開催だったが今年は10月開催となり、雨季を経て路面の苔が育ち、雨が降るとかなり滑りやすい路面状況となった。またステージの高低差も大きくブレーキへの負担も大きい。天候・路面・気温変化を的確に予測したマシンセッティングやタイヤ戦略、無駄の無いブレーキングなどのドライビング力が非常に重要となる。

LEG 1

SS1/3 「大谷 I/II」 13.51 km

高速区間と低速区間が複雑に入り混じり、鬱蒼とした森の中を駆け抜ける林道ステージ。例年より苔が多く、わずかにラインを外すだけでリタイヤに繋がってしまう難しい状況。LEG1は朝方に雨は止んだものの、全体的に日当たりの悪いこのステージの一部路面は依然として濡れていた。雨タイヤで臨んだSS1では、前半はペースよく走行するも、残り4kmを残し右フロントタイヤがパンク、車が曲がらず、大きくタイムロス。2ループ目となるSS3では、コース中盤に非常に濃い霧が発生。視界を奪われた中無傷で走り切るも、ペースを抑えすぎてしまった。

SS2/4 「大川嶺 I/II」 13.80km

標高1,400mまで一気に駆け上がり、ギャラリーコーナーのハイランドパークみかわへと向かう久万高原ラリー定番のステージ。SS2は濡れた区間も多いも、頂上付近では想像以上に路面が乾き始め、溝が多いウェットタイヤでは接地面積が少ないためにグリップ不足に苦戦する。SS2後、左フロントタイヤもパンクし、以降のタイヤ戦略の幅が狭まってしまう。新品タイヤを翌日に使用するために、2ループ目は引き続き雨用タイヤを使用。さらに乾きつつあるSS4は我慢の走りになり、ステージ後半の下り区間では車が曲がらないアンダーステアに苦しんだ。



LEG 2

SS5/7 「大川嶺リバース I/II」 13.57 km

LEG1のステージを逆走する。朝まで雨は降るも、LEG2スタート直前に雨が止み再びタイヤ選択を悩ませることに。時折晴れ間も見えるも、林道は依然滑りやすくウェット区間も残り続けると推測し、完走を意識して新品ウェットタイヤに追加の溝を入れて出走。SS5は路面は濡れて滑りやすい区間もあったが、SS7ではほぼ乾いてしまう。タイヤの使用本数は10本までという制限があるため、2ループ目はドライタイヤに変更できず、ウェットタイヤで完走を意識した走りに徹底。タイムは伸び悩むも、SS7前では乾く路面に合わせて減衰力を変更して対応した。

SS6/8 「大谷リバース I/II」 14.00 km

LEG1のステージを逆走。SS6では徐々に路面が乾きつつあるも、LEG1でリタイヤした車両から出たオイル処理のために撒かれた石灰が雨を吸い、非常に滑りやすいコーナーがある他、前日に掻き出された泥が点在するなど、より危険度が上がった。SS8では路面がほぼドライとなり、ウェットタイヤとのマッチングがさらに難しい状況に。旋回動作を早めに終え、立ち上がり重視のドライビングへと切り替え、タイムロスを最小限に抑えた。粘り強く走り続けた結果、SS1でのパンクの遅れを順調に取り戻し、クラス7位/総合11位でラリーを終えた。



KAYABA RALLY TEAM



DRIVER 石黒 一暢 - Ishiguro Motonobu -



久々のターマックラリーで気を引き締めて臨みましたが、SS1からまさかのパンクに見舞われてしまいました。久万高原のステージは比較的グリップが高い一方で、イン側から掻き出された泥や苔が多く、わずかにラインを外せば側溝に落ちかねないほど難しいコンディションでした。リスクを抑えながら慎重な走行を心がけ、大きなトラブルなく無傷で完走できたことは喜ばしいですが、ペース面では新たな課題も多く見つかりました。最終戦に向け、改善と対策を重ねていきたいと考えております。

Co-DRIVER 穴井 謙志郎 - Anai Kenshiro -



天候に翻弄されるラリーとなりました。高所ゆえに天気予報の精度が低く、雨雲レーダーを確認しながらチームで慎重にタイヤ選択を行いました。LEG2では午後から晴れ予報が出ていたものの、明け方にはしっかりと雨が降ったため、ステージの路面は濡れて滑りやすいと判断しウェットタイヤを装着。しかし、想定よりも早く天候が回復したことで路面が急速に乾き、タイヤとのマッチングが合わず走りづらい展開となってしまいました。タイヤ選択の重要性を改めて痛感させられる一戦となりました。

LEADER 松下 雄介 - Matsushita Yusuke -



雨が降ったり止んだり、そして霧が立ち込める視界不良の難しいコンディションでも集中し、しっかり完走を果たせたことはチームレベルが上がった1つの功績だと感じました。次戦の岐阜県高山市で開催される「M.C.S.C. ラリーハイランドマスターズ」はカヤバがメインスポンサーを務めさせていただくラリーでもあります。メカニックとしては3年目、クルーの2人としては全日本ラリー2年目の集大成となる一戦です。皆様に成長した姿をお見せ出来るよう、チーム一丸となり挑みたいと思います。



NEXT ➔

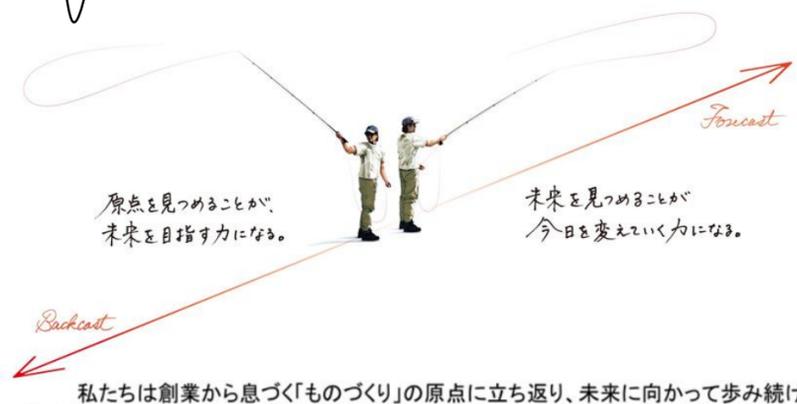
Rd.8
10/17~19 岐阜県高山市
ハイランドマスターズ



Special Thanks



※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。



@kybcorporation
カヤバ株式会社
公式Instagram



@KAYABA_KYB
カヤバ株式会社
公式X(旧Twitter)



@kyb_official
カヤバ株式会社
公式YouTube

Youtubeにて
動画公開中!



Our Precision, Your Advantage

Kites rise highest against the wind - not with it. Winston Churchill